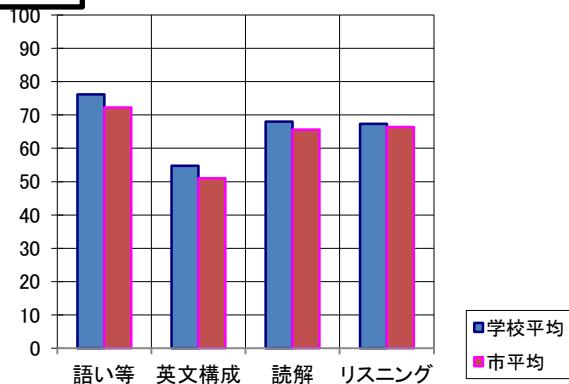


## 「英語能力判定テスト」結果の概要と今後の取組 今市中学校

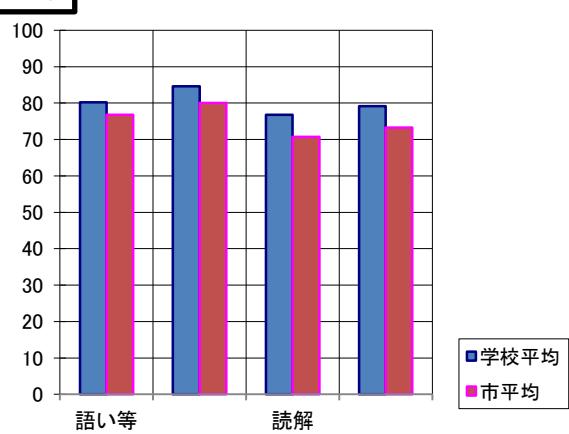
| 3年   | 語い等  | 英文構成 | 読解   | リスニング |
|------|------|------|------|-------|
| 学校平均 | 76.2 | 54.8 | 68   | 67.3  |
| 市平均  | 72.2 | 51   | 65.6 | 66.4  |

3年



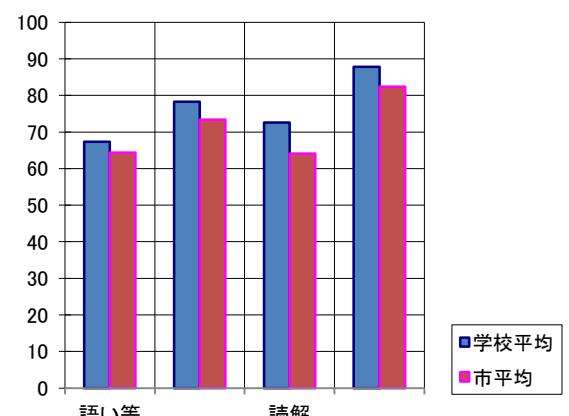
| 2年   | 語い等  | 英文構成 | 読解   | リスニング |
|------|------|------|------|-------|
| 学校平均 | 80.2 | 84.6 | 76.8 | 79.2  |
| 市平均  | 76.8 | 80   | 70.7 | 73.3  |

2年



| 1年   | 語い等  | 英文構成 | 読解   | リスニング |
|------|------|------|------|-------|
| 学校平均 | 67.3 | 78.3 | 72.6 | 87.8  |
| 市平均  | 64.4 | 73.4 | 64.1 | 82.4  |

1年



### 結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年

英検3～5級レベル：スコア 0～460点

#### 《結果の概要》

「語彙等」「英文構成」「読解」「リスニング」の各分野で、市平均を上回る正答率であった。

基礎・基本の定着は、3年間の指導の積み重ねが一定の効果をあげていると考えられる。

#### 《結果をふまえた今後の取組》

復習により、語彙・文法事項の徹底確認を行うと共に、更に発展的な学習への動機づけをしていく。

「リスニング」力向上には、C-NETによるコミュニケーション活動を活用する。

2年

英検4～5級レベル：スコア 0～400点

#### 《結果の概要》

「語い等」「英文構成」の分野の正答率は8割以上と高い一方、市平均以上はあったが、「読解」分野が他の分野に比べると若干、正答率が低かった。今後「読解」の指導を充実させる必要がある。

#### 《結果をふまえた今後の取組》

「語い等」「英文構成」の分野は一定の効果をあげていると考えられる為、今後も継続していく。また、「読解」「リスニング」分野に特に力を入れて取り組む。英語教育重点校の取り組みでもある「読みトレ」等も取り入れ、様々な長文読解の量を増やし、慣れさせ、「読解」力の向上につなげる。

1年

英検5級レベル：スコア 0～340点

#### 《結果の概要》

「リスニング」「英文構成」の分野の正答率は約8～9割と高い一方、「語い」については7割を割っている。もう一度基本である「語句」についての指導を徹底させることが必要である。

#### 《結果をふまえた今後の取組》

「英文構成」「読解」や「リスニング」の分野はICTの活用や読み聞かせが一定の効果をあげていると考えられるため、継続して取り組む。「語い」については、発音する、書き写すの指導を徹底させ、「語い力」の向上に